

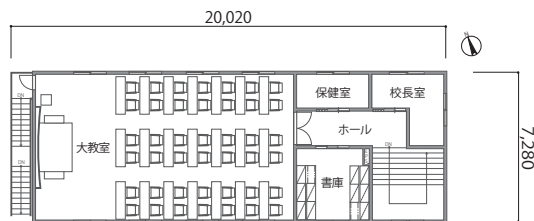


左：木造であることを外観の意匠に表現。隣の校舎との往来のため、庇を深くとった。右上：広い空間が確保された2階大教室。右下：木を多用した受付・ロビー。生徒たちが相談に来やすい親しみのあるデザイン。

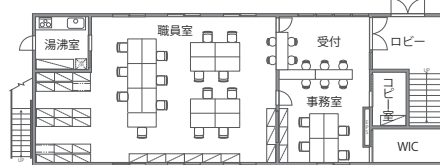
最大スパン7.3mの無柱空間を大教室に

地域材を利用した木造校舎

高校の校舎兼管理棟の本施設は、RC造や鉄骨造では工費が嵩むことに加え、木の温もりのある校舎にしたいという事業主の希望からツーバイフォー工法が採用されました。スタッド、床合板、野地合板には地域材の「びわ湖材」が使用されました。2階大教室を最大スパン7.3mの無柱空間とするために屋根はネイルプレートトラス、床はI型ジョイストの高性能床組システムを採用。カフェのようなデザインのロビーや職員室、学年に関係なく使える大教室など、自分のペースで学べる通信制・単位制の学校らしく、既成の概念にとらわれない空間づくりが行われました。



2F 平面図



1F 平面図

DATA - 司学館高等学校校舎

所在地：滋賀県東近江市

用途：学校

構造：枠組壁工法〔準耐火構造〕

階数：2階建て

敷地面積：1,380.31㎡

建築面積：192.25㎡

延床面積：331.52㎡

設計・監理：(株)北村総合設計事務所

構造設計：(株)横山設計

建方工事・構造材供給：(株)シガウッド

施工：(株)木屋町工務店

工期：2023年7月～2024年3月

法規制：一種住居地域、準住居地域
(建蔽率60%、容積率200%)



屋根にはネイルプレートトラスを採用。



スタッドには「びわ湖材」を使用。2階床にI型ジョイストが採用された。